

委員会レポート

経済建設

総務

文教厚生

一般会計補正

Q ひとり親家庭が増えているようだが、実態は。

A 23年度が290世帯、24年度が316世帯、がん検診の啓発はどうなっているか。

A 40歳以上の方への個人通知、健康推進計画策定委員10名にも検診普及活動を依頼している。昨年より今年度が受診率が上がっている。

Q 養護老人ホーム光進園の入所状況と町内の方の人数は。

A 現在定員50人に対して49人、内町内の方は35人。

Q 子ども医療の受診状況は。

A 0歳～4歳まで各年齢400人台、5歳～12歳までが320～380人で推移している。

Q 家庭的保育事業は大津町が県内第1号と聞いているが、県内の状況は。

A 合志市で2ヶ所、熊本市内では保育所型家庭的保育事業を始めている。

一般会計補正

Q 議会会議録のホームページ掲載予算について、掲載時期はいつごろになるか。

A 25年3月までには公開できる。

Q 町有地の法面工事の場所はどこか。

A 国道から吹田団地に上がって行つて左側の土地で、面積は約3000㎡。

Q 電子申告による納税事務の実績は上がっているか。

A 一昨年と比較して増加している。給与報告書は317件から457件、法人税申告は50件

から364件、償却資産申告は39件から55件に増加。さらに周知を図りたい。



岩戸の里温泉

一般会計補正

(農政課)

Q 岩戸の里の豪雨災害では不可抗力の自然災害であるが、減収額の50%を委託料とするのか。

A 減収額とは当初見込めた収益と被災後の収益推計額の差額で、過去2年間の実績を基に積算しているが、公金であることを踏まえ、経営努力を促し、それでも赤字

や未復旧の施設により減収となった場合、税理士等との協議により支出を予定している。

Q 災害保険はどの範囲まで適用されるのか、また2000万円の歳入根拠は何か。

A 町の施設は全国自治会の建物災害共済に加入し、岩戸の里も加入している。自然災害の共済金は50%との規定があり、今回の復旧工事、仮復旧工事、がれき撤去工

事等で約4000万円と試算し、その1/2の2000万円を保険料と見込んでいます。

Q 今回の災害は激甚災害に指定されているが、農地等の復旧地元負担は30%になるのか。

A 激甚の指定は受けているが、補助率は定率ではない。大津町全体の査定額を被災戸数で割り1戸当たりの被害額で補助率が決定される。最終的には70%～80%の補

助率までいくのではないかと。

Q 国庫補助の工事は町が発注するのか。またいつ発注し、いつ完了するのか。

A 町が発注する。年明けから発注して3年以内には完了するよう計画。矢護川、白川の県の護岸工事との調整があり繰り越すものや、新年度で発注となることもあると思う。

陳情第5号
下森線拡幅に関する陳情

Q 岡本家の文化財指定はどうなっているか。

A 町指定の文化財となっている。

Q 陳情ヶ所だけ拡幅でなく、下森全体的な計画はどうなっているのか。

A 下森地区は全体の拡幅が必要であり、要望があれば考えていきたい。